

みえメディカルバレープロジェクトでは、県内の各支援機関と連携してさまざまな事業を展開しています。今後も引き続き、県内事業者や研究者の皆様に少しでもお役立ていただけるよう産学官民連携を推進していきます。
今回は、財団法人三重県産業支援センターをご紹介します。

財団法人三重県産業支援センター

今年度から始まった医療・福祉機器等の製品化促進事業では、異業種からの新規参入を支援していますが、財団法人三重県産業支援センターの協力により、多くの企業が参画しています。

三重県産業支援センターは、経営者や起業家の悩みや相談にワンストップで対応できる体制の強化と、県内・国内外を広く結ぶ情報と人脈のネットワークを構築し、三重県経済を牽引する新産業・ベンチャー企業の創出育成に加え、既存産業の経営革新等を一層推進するための事業展開を図っていくことで、県産業振興の中核支援機関としての役割と機能を果たすべく日々努力を続けています。

今回は、その中で、中小企業の技術面のソリューションに携わるものづくり支援課の湯浅課長、藤原主査、濱篠主査取材しました。

主な業務内容を教えてください

私たちが所属するものづくり支援課には、20数名のコーディネーターが在籍しており、企業訪問により、企業の技術情報を調査してデータベース化しています。これらのコーディネーターは大手企業の技術系のOBですが、一人のコーディネーターでできることは限られているので、常に収集した情報をセンター内で共有化しています。1年間で訪問する企業は200社にのぼります。

ヒアリングした技術情報をデータベース化することで、何らかの課題が発生したときにマッチングなどに生かされています。また、企業の技術だけでなく、会社の新たな課題が見つかることもあります。

企業からの相談対応や実績について教えてください。

企業からの相談を受けた場合、専門家につなぐケースと私たちがバックアップするケースがあります。

私たちがバックアップする仕事とは、技術開発を希望する場合などで、国から研究開発資金を獲得するために、技術系コーディネーターがサポートすることです。この事業をサポイン事業といいますが、昨年は11件の実績となっています。

また、平成23年度当初のメイド・イン・三重ものづくり推進事業では、大学、TLOや研究機関などと連携して、当センターのコーディネーターが17件について申請内容のブラッシュアップをしています。

日頃の相談案件でも、中小企業が1社で解決できる事案は少ないため、中小企業の集まりによって試作品をつくるしくみも考えました。現在、県内に、桑名ものづくりPROJECT、試作サポーター四日市、鈴鹿ブレインヴィレッジ、プランクール伊勢の4つの団体ができました。



左から藤原主査、湯浅課長、濱篠主査

その他の業務についてはいかがですか

県内の中小企業は、お客様からの要望に応えるためにもものづくりだけをしていけばいいわけではありません。技術力を向上させ、企業としての力をつけていかなければ生き残ることはできません。そのために、私たちが専門家を講師として招き、企業力向上のための勉強会や経営戦略セミナーなども開催しています。

しかし、企業を育てていくしくみづくりのためには、私たちだけではできないので、行政、大学、研究機関や金融機関などと連携しています。

中小企業の方々にメッセージを!

私たちコーディネーターは、中小企業の経営者の方々と全力投球でお付き合いしますので、些細なことでも是非気軽に相談してください。

財団法人三重県産業支援センター

〒514-0014 三重県津市栄町1丁目891(三重県合同ビル5F)
TEL 059-228-3171 FAX 059-228-3800
URL <http://www.miesc.or.jp/>

メディカルバレー企業紹介

株式会社アスター美容

株式会社アスター美容は業務用ヘアケア商品のメーカーで、「共生・共育・共栄」の精神のもと、常にお客様の声に耳をかたむけ製品作りを続けてきました。国内だけでなく海外でも高く評価されている秘訣をお伺いに、伊賀ゆめぼりすクリエイティランドに高松宏司社長を訪ねました。



当社が生産している化粧品はほとんどはOEM製品で、国内外の美容院に当社独自のトリートメントシステムを販売しています。国内では、東京などの都市部で高い評価をいただいています。また、国内では少子高齢化が進んでいるため、海外取引も積極的に行い、18カ国で取引があります。特に韓国では有名女優御用達の化粧品になっており、有名サロンの人気商品となっています。

私は「いい製品はいい人材によってつくられる」と思っており、当社の製品は全て、私たちの社員のお客様に対する強い「思い」によって生まれています。原価のことを気にするといい商品ができないことにもつながりますので、研究開発の担当には原価は見せないようにしています。従って、当社の製品はかなり高価ですが、品質の良さが大変好評で、高級化粧品として

高い人気があります。

しかし、私が社員に対して個別に指示することはありません。当社では、外部の方の来社の際、全員が立礼してお迎えしていますが、これも社員が皆で決めたルールです。社内で創意工夫を考える「アイデア委員会」、衛生を考える「5S委員会」なども全て、社員たちが自主的に考えたしくみです。このような会社なので、社員全体に一体感があり、全員でお客様に最高の化粧品を提供しようと日々頑張っています。

株式会社アスター美容

〒518-0131 三重県伊賀市ゆめが丘7-9-2
TEL/0595-21-9827 FAX/0595-21-9826
<http://www.asterbiyou.com/>

橋本電子工業株式会社 株式会社ベルピオン

橋本電子工業株式会社は、マイクロコンピューター技術を活かし、制御・計測を切り口に、広い範囲で企画提案から研究開発、試作設計、製造販売、保守に至るまで全て行っています。今回は、県内・県外を問わず、異業種交流で人脈を広げるいつも前向きな橋本社長を訪ねました。関連会社の(株)ベルピオンもメディカルバレー参画企業で、その商品もご紹介します。



橋本社長とベルピオンの橋本さん(左)

当社は、マイクロコンピューター技術を活かした制御・計測が得意分野です。当社のスタートはマイクロコンピューターシステムを使った電磁リレー用特性検査機で、その後、劇場用床制御システムや生ゴミ分解型処理機など多くの商品を開発しました。マイクロコンピューターは産業界では極めて広い範囲で使われており、医療機器にも応用されています。メディカルバレー事業では、三重大学の吉村先生との共同研究でリポソーム自動製造装置を開発し、それまで医薬品にリポソームを被せるのに10時間かかっていたのを1時間に短縮できるようになりました。最近では東京慈恵会医科大学と協働で脳梗塞とがん治療に関する医療機器の共同開発を進めています。仕事が広範囲にわたるため、仕事を進めていく上で、人脈の広さが重要です。リポソーム自動製造装置は異業種交流会がきっかけで、東京慈恵会医科大学との案件も高度部材イノベーションセンター (AMIC) 所長からの紹介がきっかけです。

また、マイクロコンピューターとは関係ないですが、私が鈴鹿高専出身ということで、鈴鹿商工会議所から、シャクヤクの花を使った石鹸を開発したいという相談を持ちかけられ、平成22年に株式会社ベルピオンを設立し、シャクヤクエキスを配合した石鹸「ベルピオンビューティソープ」と消臭抗菌スプレー「ピオニッシュ」を開発しました。メディカルバレーのKBS事業ではアドバイザーの方に販路開拓やブランドコンセプトについて貴重な意見をいただきました。

橋本電子工業株式会社

〒515-0104 三重県松阪市高須町3866番地12
TEL/0598-51-3111 FAX/0598-52-1417
<http://www.hashimoto-inc.co.jp/>

株式会社ベルピオン

〒515-0104 三重県松阪市高須町3866番地12
TEL/0598-51-3162 <http://bellpeon.jp/>